

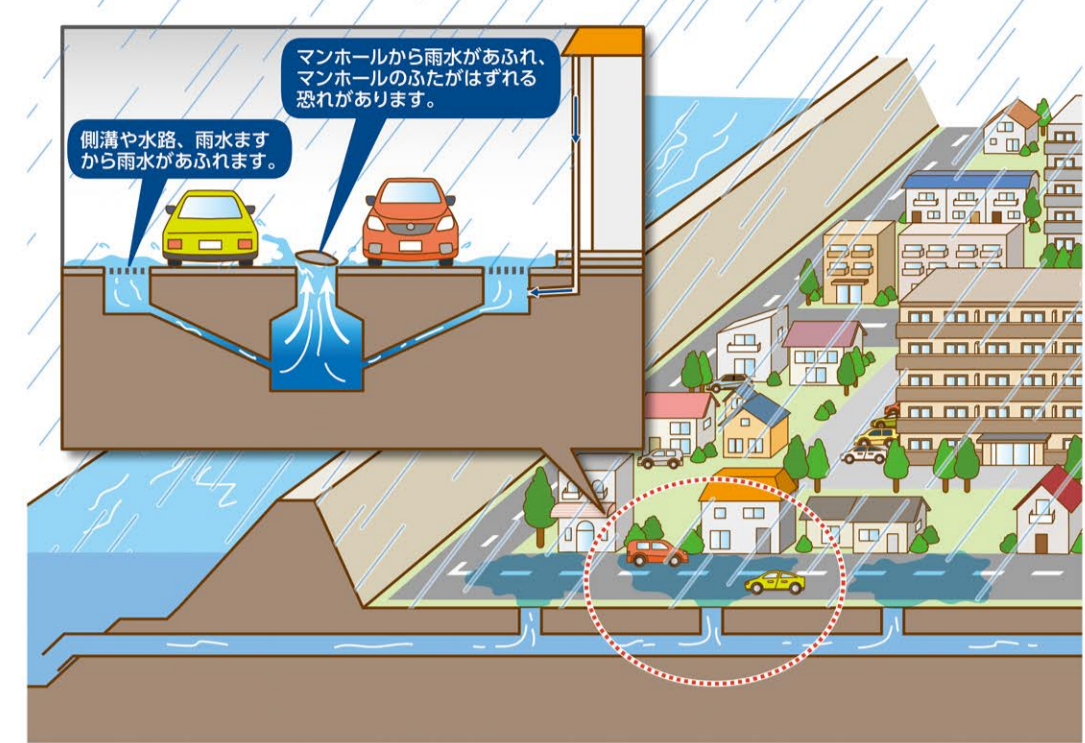
内水浸水想定区域(想定最大規模)はどのように決めたの?
 この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を超えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップを併せてご覧ください。

出典データ	
河川図	横浜市地形図製図課提供データ 令和3年度計画 9024号
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 保土ヶ谷区内水浸水想定区域(令和3年4月)

保土ヶ谷区内水ハザードマップ 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
 ※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。
 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深のめやす

2.0m以上 1階の軒下以上	2階以上
1.0~2.0m 床下浸水相当 1階の軒下まで	1階以上
50cm~1.0m 床上浸水相当 人の胸まで	1階以上
20~50cm 床下浸水相当	1階以上
2~20cm 道路冠水相当	1階以上
2cm未満 道路冠水相当	1階以上

○避難する際に注意する箇所

アンダーパス	大雨時に浸水が想定される箇所。浸水による安全な通行ができなくなる可能性があります。 (進入を中止してください。浸水が退去するまで待ってください。)
橋	大雨時に浸水が想定される箇所。浸水による通行止めや通行制限が行われる可能性があります。
地下鉄	大雨時に浸水が想定される箇所。浸水による通行止めや通行制限が行われる可能性があります。
市営地下鉄線・駅	大雨時に浸水が想定される箇所。浸水による通行止めや通行制限が行われる可能性があります。

想定条件
 1時間で
153mmの降雨
 想定最大規模降雨

保土ヶ谷区洪水ハザードマップ 洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

帷子川水系河川：帷子川、くぬぎ台川、今井川、新井川
 この洪水ハザードマップは、帷子川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。
 ※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



出典データ	
河川図	横浜市地形図製図課提供データ 令和3年度計画 9024号
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 保土ヶ谷区内水浸水想定区域
土砂災害警戒区域	横浜市環境創造局 土砂災害警戒区域(令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市環境創造局 土砂災害特別警戒区域(令和5年12月現在)

凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深のめやす

10.0~20.0m未満 1階以上の床下まで、2階以上の軒下まで	2階以上
5.0~10.0m未満	1階以上
3.0~5.0m未満 2階部分まで浸水する高さ	1階以上
0.5~3.0m未満 1階部分まで浸水する高さ	1階以上
0.0~0.5m未満 おたの橋まで浸水する高さ	1階以上

○避難する際に注意する箇所

土砂災害警戒区域(河川側)	河川側により浸水が想定される。浸水による通行止めや通行制限が行われる可能性があります。
アンダーパス	大雨時に浸水が想定される箇所。浸水による安全な通行ができなくなる可能性があります。 (進入を中止してください。浸水が退去するまで待ってください。)
土砂災害警戒区域	大雨時に浸水が想定される箇所。浸水による通行止めや通行制限が行われる可能性があります。
土砂災害特別警戒区域	大雨時に浸水が想定される箇所。浸水による通行止めや通行制限が行われる可能性があります。

横浜市水防防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。



想定条件

帷子川水系：24時間で**390mm**の降雨

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどのように決めたの?
 こちらの洪水浸水想定区域*1の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で390mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が決壊した場合をシミュレーションにより予測したものです。平成26年10月5日に24時間約307mmの降雨を観測しています。
 ※1 横浜地方気象台ホームページ
<https://www.prel.kanagawa.jp/docs/f4/1c13747/p1039490.html>
 ※2 横浜地方気象台ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>

※1 神奈川県ホームページ
 ※2 横浜地方気象台ホームページ

風水害時における避難場所について

○災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合があります。必ず、市・区のホームページやテレビ(防災放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
 ○2か所以上の避難場所へ避難できる場合、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
 ○すでに浸水が始まっている場合には無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近隣の高いところに避難してください。
 なお、保土ヶ谷区では浸水時の避難場所として、下記に示した指定緊急避難場所を優先して開設します。

No.	避難場所	所在地	位置
1	保土ヶ谷小学校	榑台町3-1	D-5
2	保土ヶ谷小学校	榑台町3-1	D-7
3	西谷地区センター	西谷町22-1	C-4
4	保土ヶ谷小学校	榑台町129-4	E-7
5	ほむろ地区センター	天竺町1-21	F-6
6	イコットハウス	月見丘37-1	E-7

大雨により河川の氾濫のおそれがある場合の避難場所